

意見聴取会 意見陳述申込書

天塩川流域委員会 宛

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出します。

平成17年 3月 日

1. 意見陳述申込者

ふりがな
ご氏名

年齢 47 歳

性別 男 女

ご住所 下川町

2. ご意見

下川町は、昭和20年代から植林を行い、山づくりを継続して来ます。これまでです。1年入大雨では、一気に川の氷が増大します。自然のままの山が良いのかと申しませんが、人間は生きていかなければならず、生活をするには必ず何かを犠牲にしなくてはなりません。魚を捕って食べる。動物を捕獲したり飼育して食べる。野菜を栽培して食べる。木を栽培して食べる。など... 山からは、木と山の食料をいっただえ、橋を造り、家建て、紙を作り、そんなふうにご利用してきた結果が、山の保水力を下げることになったのではないかと思います。東日本震災のときには、下川町の山から復興材として木樫が相当量搬出されています。山は遠くの都市の復興などに使われてきました。植林や育林を継続し山づくりを進め、山の保水力を高めることは、山を利用した私たちの責任ではないでしょうか。しかし、山造りには長い年月がかかります。最近の異常気象を考えると、100年に1度の洪水を想定して治水のためのサンダム建設を進めることは、人命尊重の上で、大変重要なことです。100年に1度の洪水が起これば、中流域、下流域に暮らす住民への被害が甚大になるだろうことは、だれもが想像出来ると思います。川上に住む住民として、サンダムの必要性を認識し建設を促進していくことが必要です。

※上記のご意見記入欄が不足する場合は、本意見陳述申込書と併せて別紙で提出して下さい。